

山名	京都一周トレイル⑥	山行名	10月例会
ルート	二ノ瀬～夜泣峠～山幸橋氷室口～氷室～上ノ水峠～沢ノ池～仏栗峠～高雄		
山行日	2019年10月6日(日)	天候	曇り時々晴れ
参加者	CL:平尾 SL:藤村 女性:伊藤多、伊庭、上杉、上田、大林、竹村、玉置、中井 男性:田中、中田 合計12名		

ルート概略図 	コースタイム				
	地名	時:分	地名	時:分	
二ノ瀬	着	8:10	京見峠登り口	着	13:10
	発	8:45		発	13:20
夜泣峠	着	9:12	上ノ水峠	着	14:15
	発	9:15		発	14:15
山幸橋氷室口	着	10:30	仏栗峠	着	15:00
	発	10:40		発	15:00
氷室神社	着	12:05	高雄	着	15:50
	発	12:35		発	16:05

京都一周トレイルの6回目、二ノ瀬から高雄まで北山を横断する。雲ヶ畑行バス廃止の影響で山幸橋からのバス便が悪く(1日数便)15.4kmの長い区間となった。それを反映してか参加者が12名と前回の半数ほど、しかし長い距離に不安を持ちながらも新入会者3名の参加があり全員無事完歩できたのは何より。暑さが少し残るとはいえようやく秋らしい好天に恵まれた。二ノ瀬神社境内は台風による倒木で入口が塞がれており前の道路で体操をし、予定時間を少し回ったが念のためのヒル除けスプレーを足にかけスタート。前回と違い最初からの登りで夜泣峠に、向山のピークを越え下りは順調なペースですすむ。山幸橋の発電所手前では倒木が道路を覆っていたので乗り越えていく。ちょっと長めの休憩でエネルギー補給、東海自然歩道と別れ林内に入る。その先はかつて養蜂や何か栽培がされていた跡がフェンスで囲われている間の野道に行く。チカラシバがきれいに揃いアザミも咲いていた。狼谷では今年の台風の爪痕が残り倒木のオンパレードだったが、下見で確認していた通り歩けるように整備され迂回路もありスムーズに通過できた。谷の右岸に渡ると今回最もきつい急登が現れ、風もなく蒸し暑い。氷室への出口の獣除けフェンスにチェンキーがついていたが、右側の扉を開けて里へでられた。コスモスや盛りを過ぎたヒガンバナを眺めながら山里を歩く。氷室神社境内で昼食、後半のトレイルは登りの舗装路で城山を巻いて古道若狭街道へ降りる。このあたり鐘磨岩(やりとぎ)という変わった地名。レストランの奥でトイレ休憩(この区間唯一のトイレ)、京見山荘前で京見峠からの道と出会う。京都市内の展望を楽しみ集合写真をとる。上ノ水峠からはトレイルコースが倒木で通行止めのため迂回して舗装路をたっぷり歩き沢ノ池につく。池の周りは数人のみで静かだった。最後の上りで仏栗峠(ほとくり)を通過し下っていく。途中左手に展望が開け嵯峨、嵐山はじめ京都市街を眺めた。福ヶ谷林道に降り、予定より30分早く高雄白雲橋に到着。再度集合写真を撮って解散。梅ノ尾バス停から間もなく到着したJRバスに乗り京都駅に向った。初の長距離山行や久々の山行だった方もあったが、天候にも恵まれしっかりと秋の京都トレイルを楽しめたことと思います。SL藤村さん、参加のみなさんありがとうございました。

参考記録:15.4km、7時間5分、標高差293m、ヤママップ累積上下高1,427m/1,494m?

ヒヤリハット なし



京見山荘付近



高雄白雲橋

<感想>

竹村 直子

暑くもなく寒くもなく爽やかな10月の風が心地よい、里山登山でした。

休憩時には柿やサツマイモの手作りスイーツと、秋の味覚をご馳走になりました。

高低差も緩やかでいくつかの峠を越える軽めの登山でしたが、距離が長かった！

最後はへろへろ・・・。(私だけでしたが・・・)「あと、もう少し！」と励ましていただきながら、高雄に無事ゴール。京都までの帰りのバスは爆睡でした。来月は紅葉が楽しみです。



夜泣峠へ

向山の先で展望



倒木をまたいで

山幸橋

手作りスイーツでエネ補給



秋空のもと

休憩

台風爪痕残る狼谷



倒木をくぐって

倒木もなんのその



氷室の里へ

京都市内の展望（仏栗峠～高雄）